

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》○武田涼子 高橋尚明 佐々木祐二 坂上哲可

【概 要】

切断に関する講義と演習を実施する。切断に関する医学的基礎知識、義肢の種類とその構造・機能、義肢を使用するの日常生活動作、切断患者に対する理学療法について学習する。

【学習目標】

義肢を使用したリハビリテーションを理解するために、切断者側に生じる機能障害と対応する義肢の関係を理解し、必要な運動療法を理解することができる。

1. 四肢切断の基本的概念について説明することができる。
2. 四肢切断術の医学的知識について理解し説明できる。
3. 義足のアライメントについて理解し義肢に適用し説明できる。
4. 四肢切断者の理学療法（運動療法、義足装着関連、日常生活活動）について理解し、説明ができる。
5. 義手と義足に関して、その構造と部品名、義肢にまつわる用語を理解し現物を見ながら説明ができる。
6. 義肢の支給体系とチームアプローチについて説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	・切断の基礎知識 ・支給体系 ・四肢切断術 ・義肢処方 ・断端の医学的管理 ・義肢の構造と適合	・切断者の現況（切断部位と年齢切断原因） ・義肢支給に関わる処方と社会制度 ・四肢切断術の適用と主義の一般原則 ・切断部位による分類 ・上肢、下肢の切断と機能的特徴 ・切断直後の断端ケア 弾性包帯装着演習 ・早期義肢装着法 ・義肢の役割と普及の現況 ・義足の構成と種類	武田涼子
2	・大腿義足 ・大腿義足と膝継手	・大腿切断と膝離断の基本と義足構造 ・大腿義足の構成 ・大腿義足のスタティックアライメント、ダイナミックアライメント ・大腿義足装着者の歩行と膝継手 ・大腿義足装着者の歩行	武田涼子
3	・大腿義足のまとめ①（課題提出）	大腿義足に用いる膝継手と、大腿義足歩行についてまとめたレポートを提出	武田涼子
4	・大腿義足のまとめ②（課題提出）	断端管理と大腿義足歩行についてまとめたレポートを提出	武田涼子
5	・義手	・義手の役割と普及の現況 ・義手の機能的分類 ・義手の構成と種類	坂上哲可
6	・上肢切断者の理学療法	・上肢切断における断端評価 ・義手装着前練習 ・義手装着練習 ・上肢切断者の日常生活活動	坂上哲可
7	・股義足	・股離断、片側骨盤切除、足部切断の義足構造とアライメント ・股義足の適応と特徴 ・股義足のスタティック・ダイナミックアライメント	高橋尚明
8	・下腿切断と義足構造 ・下腿義足アライメント ・下腿義足サイム切断	・下腿切断、サイム切断の基本と義足構造 ・下腿義足の構成 ・下腿義足のスタティックアライメント、ダイナミックアライメント	武田涼子

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		・下腿義足装着者の歩行	
9	・下腿義足のまとめ (課題提出)	下腿義足と下腿義足歩行についてまとめたレポートを提出	武田涼子
10	・下肢切断者の理学療法評価	・義足装着前練習 ・義足装着練習	武田涼子
11	・義足装着者の日常生活活動	・義足装着者の日常生活活動における具体的方法の演習	武田涼子
12	・切断者の評価	・大腿切断者の断端評価体験 特別講師：西山徹、仲内信行	武田涼子
13	・切断者の歩行	・大腿切断者による大腿義足装着時の歩行デモンストラーション 特別講師：西山徹、仲内信行	武田涼子
14	・上肢・体幹・下肢装具装着，チェックアウトのまとめ (課題提出)	・上肢装具・義手、下肢装具・体幹装具・義足に関する問題を提示し、レポートとしてまとめる	武田涼子 坂上哲可
15	・国家試験問題の解説	・国家試験問題を事前提示し予習を行う。 ・講義では問題解説を行う。	武田涼子

【評価方法】

- ・定期試験（オンライン）100%（定期試験受験資格は学則に準ずる）
- ・定期試験および追再試験実施後、問い合わせがあった際には模範解答を開示する。

【備考】

教科書：日本整形外科学会 他 監修 「義肢装具のチェックポイント 第8版」 医学書院 2014年
永富史子 他 著 「理学療法テキスト 義肢学（15レクチャーシリーズ）」 中山書店 2011年

参考書：澤村誠志 著 「切断と義肢」 医歯薬出版株式会社 2007年
日本義肢装具学会 監修 「義肢学 第3版」 医歯薬出版株式会社 2015年
細田多穂 編著 「Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法 第3版」 医歯薬出版株式会社 2002年

その他：講義時に配布する資料

【学習の準備】

- ・教科書の指定章を読み、不明な運動学、解剖学関連専門用語について調べてから臨むこと。（予習20分）
- ・講義内で実施した練習問題や講義資料、講義メモを用いて理解を深めること。制度や義肢の名称を覚えること。また義肢を装着した日常生活を送るために①切断者側に必要なこと②義肢側に必要なこと③義肢を装着したときに生じることにわけて講義内容を整理すること。（復習20分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

武田涼子（理学療法士） 高橋尚明（理学療法士） 佐々木祐二（理学療法士） 坂上哲可（作業療法士） 西山徹（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や福祉施設における、理学療法士、作業療法士としての実務経験を活かし、義足や義手の基礎的知識から臨床における介入に関する知識について講義する。また、実際に装具や体験義足をもちいた評価、介入について演習を行う。